

作物名 **ほうれんそう** 作業名 **調製作業**

服装 **作業服、ビニール手袋、帽子**

(取材協力: 飛騨野菜出荷組合ほうれんそう部長)



収 穫

- ①ほうれんそうを、収穫機または、鎌で刈る
- ②刈り取ったほうれんそうは、コンテナに詰め、濡れたムシロをかけ、作業場にある予冷庫に保管する



準 備



- ①予冷庫に保存している、ほうれんそうが入ったコンテナを、作業台のそばへ一つずつ運ぶ
- ②ほうれんそうを、コンテナから両手で一抱え持ち、作業台に根を手前に向けて積む
- ③作業台の下に廃棄葉を入れるコンテナを置く

障がい者が
作業する際の
留意点

- ・作業台にのせる量は、作業がしやすい量でよいが、具体的にどれくらいか示す
- ・コンテナを置く場所、ほうれんそうを置く場所に目印をつける

下 葉 か き



- ④作業台にあるほうれんそうを一株ずつ取り、逆さにして持って下葉と出荷に適さない葉(折れ葉、傷んだ葉)を取り除く
- ⑤同じ葉長の株を長さ(規格)ごとに指定の位置に向きを揃えて積み上げる
- ⑥除去した葉は作業台下の廃棄用コンテナに入れる

障がい者が
作業する際の
留意点

- ・規格が判別できるよう、作業台に定規に色をつけたものを設置する
- ・規格ごとの指定の位置がわかるよう、作業台に目印をつける

選 別



- ⑦下葉等を取ったほうれんそうを規格ごとに、親指と中指でつかめる太さの束にする
- ⑧ほうれんそうの根をハサミで5mm程度に切りそろえる
- ⑨タオルで株元の泥を拭き落とす

障がい者が
作業する際の
留意点

- ・5mm程度を示す基準の物を用意する(ハサミの先端5mmにマジックで印をつけるなどの工夫)
- ・ハサミを置く場所を決めておく
- ・下葉等を取ったほうれんそうは、計量するので、親指と中指でつかめる程度の量とする

計量



- ⑩束の重さを計り、190g～205gの範囲になるように、ほうれんそうの量を調節する
- ⑪重量を確認した束は他の束と混じらないようにベルトコンベアに載せる

障がい者が作業する際の留意点

- ・秤はアナログ針を使用し190gの所、205gの所に印をつけ、この間になるよう計量すると指示をする
- ・ベルトコンベアには、規格ごとに目印をつける
- ・ベルトコンベアに載せるとき、束が混ざらないように縦置き、横置きと交互に重ねるなどの方法もある

袋詰め



- ⑫ベルトコンベアを動かし、包装機に規格ごとに一束ずつ入れる

障がい者が作業する際の留意点

- ・包装機に入れる向きを間違えないよう、絵や写真などで図示する

箱詰め



- ⑬出荷箱を組み立てる
- ⑭袋詰めされたほうれんそうを20袋ずつ箱に詰める

障がい者が作業する際の留意点

- ・一定方向に何束ずつ並べ、何段まで重ねるかなどの詰め方のルールを図示する
- ・箱に詰める時は、同じ規格の袋詰めされたほうれんそうを詰めるよう指示する

梱包(機械使用)・出荷



- ⑮ほうれんそうを詰めた箱の上の蓋を閉じ、手で押さえながら機械に通し、梱包する
- ⑯箱を、指定の場所に規格別に分けて積む

障がい者が作業する際の留意点

- ・指定場所、規格別がわかるよう目印をする
- ・積み上げる数は指示が必要
- ・積み上げる際の箱の向きを間違えないよう、図示する